

レポートからわかる大学新入生の職業意識

The Report Reveals the Professional Awareness of University Freshmen

加藤 豊二 *KATO Toyoji*
(留学生別科)

1. はじめに

筆者は留学生別科に所属し、外国人留学生に対して日本語を教えることを専門としているが、2021年度は、学部の日本人学生に対して「大学生になる」(前期)、「日本語表現」(後期)を担当する機会を得た。この2つの科目は、学部の新入生が「大学生としての心構え」を学ぶとともに、大学生活を送る上で重要である「レポート」作成の基礎を学ぶことを目的としている。

新入生に「大学では何を学びたいのか」「将来の夢」について語ってもらったり、レポートを書かせたりした。本学の新入生がどのような夢を持ち入学し、1年次において、どのようなことに関心を持っていたかをレポート等を通じて検証する。レポートのテーマには、自分の関心があるものが表れるものであるが、入学時と、後期では、どのような変化があるのかを見ていきたい。そして、それは将来どのようにつながっていくのかを探りたい。

2. 研究課題

- (1) 本学の新入生の将来の夢は何であろうか。つまり、将来、どんな仕事をしたいと思っているのであろうか。そのため、大学ではどんなことを学びたいと思っているのであろうか。また、どのようなことに関心を持っているのであろうか。1年生の必修科目である「大学生になる」「日本語表現」に書かれたレポートのテーマから検証する。
- (2) 筆者が担当した「大学生になる」「日本語表現」の新入生は、2年生終了時でも、関心を持っている分野に変化はないのであろうか。
- (3) 本学の学生は、卒業後どのような方面に進んでいるのであろうか。

3. 調査の概要

今回の調査では、2021年4月入学の新入生が、「大学生になる」(前期)、「日本語表現」(後期)で実際に書いたレポート等を対象とする。「大学生になる」の受講生は23人、「日本語表現」の受講生は26人である。後期の「日本語表現」では、前期の受講生23人に新たに3人加わり、26人となった。

筆者が担当した受講生は、東キャンパスにある芸術学部芸術学科音楽領域15人、舞台芸術領域3人、芸術教養領域1人、人間発達学部子ども発達学科4人の学生である。調査対象のレポート等は、新入生の入学時から1年次終了時までを対象とするため、前期の受講生23人を対象とし、後期に加わった3人は調査の対象としない。受講生の所属別人数は表1のとおりである。

表1「大学生になる」受講生の所属

所属			人数
学部	学科	領域	
芸術学部	芸術	音 楽	15
		舞台芸術	3
		芸術教養	1
	計		19
人間発達	子ども発達		4
合計			23

調査方法は、1つ目の課題は、「大学生になる」「日本語表現」で受講生が書いたレポート等から分析をした。2つ目の課題は、新たに2年終了時の2023年3月に、「大学生になる」「日本語表現」の受講生に対して、アンケート調査を実施した。また、3つ目の課題は、本学キャリアセンター提供の資料で分析した。詳細については後ほど述べることにする。

4. 大学生になる

「大学生になる」という科目名だけを聞いても、実際にどのようなことを学ぶのかがわからないと思われる所以、授業の概要について説明をする。

表2 2021年度前期「大学生になる」のシラバス

回	内 容
1	オリエンテーション「大学とは何か、何をどう学ぶか」
2	プレゼンテーションの練習①「夢を語ろう」
3	ディスカッションの練習 犯罪・詐欺罪防止のビデオを見て、ディスカッションをしよう
4	情報の最前線・図書館の使い方
5	レポートを書いてみよう①「テーマの立て方」
6	レポートを書いてみよう②「文章の書き方Ⅰ」
7	レポートを書いてみよう③「文章の書き方Ⅱ」
8	レポートを書いてみよう④「全体の構成」
9	プレゼンテーションの練習②
10	先輩の話を聴き、将来を考えよう
11	大学を知る
12	キャンパス交流プロジェクト①（東キャンパス紹介動画作成）

13	キャンパス交流プロジェクト②（東キャンパス紹介動画作成）
14	キャンパス交流プロジェクト③（東西キャンパス紹介）
15	まとめ

本学では、様々な科目の学修によって高度な知識と思考力を備えた、社会に通用する自己形成を目指す学生を育てることを目指しているが、その教育上の準備として「大学生になる」を必修科目に設定し、学修のためのアカデミック・スキルを身につける。また、様々な課題に取り組む中で、成果発表や他者との意見交換を行い、卒業後の社会生活において必要とされる能力を養う。

実際に2021年度入学生に使用したシラバスは表2のとおりである。1回目のオリエンテーションでは「大学とは何か、何をどう学ぶか」を扱い、実際に「大学で何を学びたいのか」を書いてもらった。また、2回目の「夢を語ろう」では、入学時の新入生の夢を語ってもらった。そして、この2つを今回の調査対象とした。受講生に1年間で2000字程度のレポートを3回書かせたが、1回目のレポートは、この「大学生になる」で書いたレポートを調査対象とした。

表2のシラバスを見てもわかるように、新入生が大学とはどういうところで、大学4年間を過ごすのに必要な基礎的な知識を学ぶ授業である。この「大学生になる」は、大学に入学したばかりの新入生たちが、授業での話し合い等を通じて、友だちになるいい機会にもなっている。また、同じ学部だけでなく、他の学部の学生ともいっしょに学ぶ。

私が担当した東キャンパス（芸術学部音楽領域、舞台芸術領域、芸術教養領域、人間発達学部）の学生はもちろんのこと、西キャンパス（芸術学部美術領域、デザイン領域）の学生と交流する機会もある。西キャンパスの動画作品を見て、美術、デザイン専攻の学生のイメージが変わったと、東キャンパスの学生たちは話していた。また、授業後のアンケートでも、学生たちは、キャンパス交流プロジェクトでの東キャンパス紹介動画作成が一番楽しかったと回答している。

5. 調査の結果

それでは、1つ目の課題の結果を述べることにする。本学の新入生の将来の夢は何であろうか。つまり、将来、どんな仕事をしたいと思っているのであろうか。また、大学ではどんなことを学びたいと思っているのであろうか。

5-1. 将来の夢・大学で学びたいこと

本学の学部新入生は、前期に「大学生になる」（必修）を履修するが、この授業の中で、「将来の夢」「大学で学びたいこと」について語ってもらった。

表3 将来の夢

	所属	コメント
1	人間発達	小学校の先生
2		小さい子どもが好き
3		幼稚園、保育園の先生
4		保育士
5	舞台芸術	裏（音響）の仕事
6		未定
7		芝居
8	芸術教養	ライブ、イベントを手がけたい
9	音楽	ペイシスト、ドラム、洋楽
10		裏方（音響、照明）、音楽療法士
11		テーマパークダンサー、小学校の先生
12		音楽関係、学芸員
13		エレクトーン講師
14		声優
15		ライブの裏方
16		レコーディングエンジニア
17		音楽教師、吹奏楽の指導者
18		吹奏楽の指導者
19		演奏
20		海外での音響、舞台の仕事
21		音楽教師、吹奏楽指導者
22		声優
23		作曲家

*注：人間発達は現在の教育学部を指す。

表3が新入生に語ってもらった「将来の夢」である。人間発達学部（現在の教育学部）の学生は、小学校の先生、幼稚園、保育園の先生（保育士）になりたい。また、芸術学部の学生も、裏（音響）の仕事がしたい。ライブ、イベントを手がけたい。声優になりたい等々、将来の夢、つまりどんな仕事がしたいのかが明確である。

本学には芸術学部、人間発達学部の2学部があるが、将来の夢、どんな仕事をしたいのかがはっきりした学生たちが多く入学している。その点、目標がしっかりとしているので、教員にとっても教えやすいのではないかと思われる。

ここで、具体的に3人の新入生が書いたものを紹介する。

Aさん（音楽領域）

私が声優という職業に出会ったのは、小学校5年生の時です。初めは夢ではなくて、憧れる、応援するというだけでした。それが夢に変わった瞬間は高校3年生の時でした。

ある日、友人が「専門学校のアフレコ体験に付いてきて！」と言いました。面白そうだし、1回やってみたかったのもあって、行きました。初めて声のついていないアニメ

ーションを見て、私は今からこれに命を吹き込むんだと思って、ワクワクしたのを昨日のことのように覚えています。いざアフレコをして、完成をした映像を見たときに、これだ！と思いました。

これだ！と思ったのははっきりとした理由がありました。それは高校の部活動で演劇を経験していたからです。演技をすることが楽しくて、演技は何かしら続けたいと思っていました。そんな時にアフレコ体験に連れて行ってくれた友人には感謝しています。

私は将来、人の心を大きく動かすことができる演技をして、誰かの心に残ることのできる声優になりたいです。そして、いつか、私の憧れている声優である古賀葵さんと共に演したいと思います。

Aさんが将来「声優」という仕事をやりたいと思ったきっかけ、また声優になりたい理由もきちんとしており、具体的にどのような声優になりたいかも明確である。きちんと自分の目標を持って大学に入学してきたことがよくわかる。

Bさん（人間発達）

私が大学で学びたいことは、二つあります。まず一つ目は、保育についてです。私は子どもが好きで将来は保育士になりたいと思っており、大学では、保育の心理学やピアノの授業があるので、保育について専門的に学び、将来に生かしたいと思っています。

二年生になったら、保育実習もあり、子どもたちと直接ふれ合えて、先生として現場に立つことになります。保育実習では、子どもたちへの接し方を学ぶだけでなく、社会人として常識を学んだり、保護者への対応を学んだりすると思います。保護者が安心してお子さんを預けられるような保育士になりたいので、そのために、この大学四年間で色々なことを吸収して成長していきたいと考えています。

次に、大学で学びたいことの二つ目は、人間関係についてです。私は、人と関わることは元々好きですが、なぜか人見知りをしてしまいます。ですが、大学では、色々な人が集まり、とてもたくさんの人達と関わります。（中略）社会に出ても色々な人と関わることになるので、大学のうちから人との関わり方についても生活しながら学んでいこうと思います。

Bさんも将来なりたい保育士について、入学後、どのような勉強をするかについてもきちんと理解している。また、自分自身の性格も把握し、どのような学生生活を送ればよいのかも認識している。

Cさん（芸術教養領域）

私は、音楽イベントに行くことがとても好きで、将来は、イベントの企画や制作に関わ

る仕事がしたいと思い、この大学に入りました。なので、大学では、芸術を総合的に学び、人を楽しませる力を学んでいきたいと思っています。また、地域を盛り上げたり、社会に貢献できるようなイベントを作りたいと思っているので、地域とのつながりを大切にしているこの大学は、自分にとってとてもいい環境だと思っています。

積極的にいろいろな活動に参加し、学生のうちから経験や知識を積んでいきたいです。好奇心だけは人一倍あるので、いろいろなことに手を出して、自分のものにしていける四年間になればいいなと思っています。

Cさんも将来自分がしたい仕事も決まっており、目的意識がしっかりとしている。大学に入ることだけを目的としている学生とは違い、とても頼もしい。

以上、ここに紹介した学生だけではなく、ほとんどの学生がきちんと将来の夢を持って、目的意識を持って入学している。

5-2. 新入生が選択したレポートのテーマ

表4 「大学生になる」「日本語表現」のレポートのタイトル

学部	領域	レポート① 2021年6月	レポート② 2021年11月	レポート③ 2021年12月
1	芸術 教養	若者のファッショントに対する意識の調査と単純接触効果による苦手意識の改善	人々の聴き方の変化から見る音楽業界の歴史	ライブハウスから見るコロナ禍以降の音楽イベントのあり方
2		～遊撃手～あ、野球の話です	週刊少年ジャンプの歴史	ガスコンロとIH
3		音楽が胎児や母体に与える影響とは	K-POPが世界的人気な理由とは	ベースの歴史と役割
4		東京ディズニーリゾートがなぜこんなにも愛されるのか	スターバックスコーヒーがなぜ人気なのか	日本のオタク文化について
5		コンサートホール 搬入口について	音楽の必要性とは	手の左右の機能の差について
6		声優の歴史～裏方業から表舞台～	同一性と思考実験	言葉のサラダと統合失調症
7		簿記検定3種類の比較	音楽にはどのような力があるのか	オーケストラについて
8		指導者として必要なスキル	感動する音とは	勉強中の音楽は良いのか悪いのか
9		コンサートホールの形状と音の関係	人間を魅了したASMR	音楽と人間とのつながり
10		SDGsについて	さつまいもについて	年越しそばについて
11	舞台 芸術	部活動が中高生にもたらす様々な影響と部活動の現状	テレビ離れとインターネット普及	大学に進学するべきか
12	人間 発達	宮崎駿さんが有名になったきっかけ～ジブリで大ヒットするまで～	認定こども園ができたのはなぜか	ジブリ「思い出のマーニー」について
13		T市について	虐待はなぜ起こるのか	レ・ミゼラブルについて
14		レポートを上手に書きたい	クレヨンしんちゃん	小学校いじめ
15		いろはすといろはすみかんの成分の違い	ギターの歴史や種類について	ザ・ドリフターズについて

次に、新入生はどのようなことに関心を持っているのであろうか。新入生は、2つの授業で計3本の2000字程度のレポートを書いた。1回目が「大学生になる」の授業の中で2021年の6月に、2回目と3回目が「日本語表現」の授業の中で11月と12月に書いている。テーマは自由なので、学生達は各時点での関心のあるテーマでレポートを書いている。

2021年前期の「大学生になる」の受講生は23人であったが、後期も続いて「日本語表現」を受講した学生の中で、調査協力承諾書に同意の学生および同意がないにも関わらずアンケートに協力してくれた計15人の学生のレポートのタイトルは表4のとおりである。

なお、筆者が担当した学生は、東キャンパスにある芸術学部芸術学科の音楽領域、舞台芸術領域、芸術教養領域ならびに人間発達学部（現教育学部）子ども発達学科（現子ども学科）の所属であり、西キャンパスの芸術学部芸術学科の美術領域、デザイン領域の学生は調査の対象としない。

5-2-1. 専門に関するテーマの回数

入学時から1年修了時まで3回のレポートを書かせたが、新入生は自分の専門に関するテーマでレポートを何回書いているのであろうか。3回とも専門、2回専門、1回専門、全く専門なしの4種類に分類したものが表5である。

表5 専門に関するテーマの回数

3回専門	2回専門	1回専門	専門なし	合計
4人	2人	4人	5人	15人
26.7%	13.3%	26.7%	33.3%	100%

- * 3回専門の学生：音楽領域4人
- * 2回専門の学生：音楽領域1人、芸術教養領域1人
- * 1回専門の学生：人間発達学部3人、音楽領域1人
- * 専門なしの学生：音楽領域2人、舞台芸術領域2人、人間発達学部1人

この表を見ると、一番多いのが専門に関係のないレポートを書いている学生5人で33.3%を占める。続いて、3回専門で書いている学生、1回専門で書いている学生がそれぞれ4人の26.7%であり、そして、一番少なかったのが、2回専門で書いている学生2人で13.3%であった。

3回レポートを書く機会があったが、専門に関係のないテーマで書いている学生が一番多かった。つまり、新入生は様々なことに関心があり、専門だけに关心があるのでないことがわかる。続いて、3回とも専門、1回専門に関するテーマで書いている学生が多かった。3回専門で書いている学生は、いずれも音楽領域の学生であった。

5-2-2. 芸術学部と人間発達学部の学生を比較して

芸術学部の学生と人間発達学部の学生の書いたテーマを比較すると、芸術学部の学生のほうが人間発達学部の学生より、自分の専門に関するテーマを選択する確率が高いようである。

例えば表4の3番の音楽領域の学生のテーマは、「音楽が胎児や母体に与える影響とは」「K-POPが世界的人気な理由とは」「ベースの歴史と役割」と、いずれも音楽に関するテーマを扱っている。

一方、人間発達学部の学生のテーマは、例えば12番の学生は、「認定こども園ができたのはなぜか」と教育に関するテーマを扱っているが、その他は「宮崎駿さんが有名になったきっかけ」「ジブリ『思い出のマーニー』について」とスタジオジブリ関係のテーマを扱っている。また、13番の学生も、「虐待はなぜ起こるのか」と教育に関するテーマを扱っているが、「レ・ミゼラブルについて」と、芸術に関するテーマでもレポートを書いている。自分の専門である教育ではなく、芸術に関するテーマを選択しているところを見ると、さすが芸術大学の学生だと言えよう。

芸術学部の学生のほうが人間発達学部の学生より、専門に関するテーマを扱う場合が多い。それだけ、芸術学部の学生のほうが専門との結びつきが強く、職業意識という点から考えると、早くから職業意識を持っていると言える。これは、芸術学部の学生も人間発達学部の学生も、目的意識をしっかりと持って入学しているが、芸術学部の学生のほうが、将来、自分の専門である芸術関係の職業に就きたいという気持ちが強い表れなのではないだろうか。

5-2-3. 具体例

それでは、学生たちが実際に書いたレポートから代表的な具体例を3つ挙げることにする。

例1 3回とも専門に関するテーマのレポート例

1回目：「指導者として必要なスキル」→2回目：「感動する音とは」→

3回目：「勉強中の音楽は良いのか悪いのか」

8番の学生は、将来吹奏楽の指導者になることを目標としており、1回目には「指導者として必要なスキル」について、自分自身の経験から、指導者は環境づくりが大切だと述べている。また、2回目には、毎日聴いている音楽に感動するのはなぜなのかを考え、「感動する音とは」をまとめた。そして、3回目は「勉強中の音楽は良いのか悪いのか」、普段音楽を聴いていて、「ながら勉強はよくない」「音楽がないと集中できない」の両方から、勉強中の音楽はよいのか悪いのかについてレポートをまとめた。このように、専門の音楽に関して、普段からいろいろ考え、疑問に思ったことを調べ、レポートにまとめるという姿

勢を貫いている。

例2 2回専門に関するテーマのレポート例

1回目：「簿記検定3種類の比較」→2回目：「音楽にはどのような力があるのか」→
3回目：「オーケストラについて」

7番の学生は、1回目は専門の音楽と関係のない「簿記検定」について調べ「簿記検定3種類の比較」をまとめた。高校時代に勉強した簿記について調べたが、興味があることは調べて知識を増やしていくことが大切だと述べている。そして、2回目には「音楽にはどのような力があるのか」と、音楽を勉強するのに、技術だけでなく音楽にはどのような力があるのかを知りたいという気持ちから、このようなレポートをまとめた。そして、3回目には「オーケストラについて」学びたいと思い、このテーマを選んでいる。入学当初は専門に関するテーマではなかったが、2回目以降は専門に関するテーマであり、1年生において意欲を持って取り組んでいる様子が伝わってくる。

例3 専門に関するテーマのないレポート例

1回目：「いろはすといろはすみかんの成分の違い」→2回目：「ギターの歴史や種類について」→3回目：「ザ・ドリフターズについて」

15番の学生は人間発達の学生で保育士志望である。1回目は清涼飲料水の成分の違いについて、2回目は楽器の「ギター」について、3回目はコメディアンの「ザ・ドリフターズ」について扱い、専門に関するテーマは扱っていない。興味・関心のあることをテーマにしているが、2回目と3回目は芸術に関する内容である。芸術大学にある人間発達学部（現教育学部）の学生なので、芸術に関心を持つ環境が整っていると言えよう。

このように、レポートのテーマから学生がどのようなことに関心を持って取り組んでいるのかを知ることができる。

5-3. 2年生終了時における関心分野の変化

それでは、2つ目の課題に移る。筆者が担当した「大学生になる」「日本語表現」の新入生は、2年生終了時でも、関心を持っている分野に変化はないであろうか。この点などに関して2023年3月6日～3月21日にアンケート調査を実施した。受講生23人に対して卷末にあるアンケート調査（資料1）をメールで送り、4人から回答を得た。私が授業を担当してから1年以上も経過していることや、春休み期間とも重なっていた等の理由により回答は少なく、音楽領域2人、舞台芸術領域1人、人間発達学部（現教育学部）1人から回答を得た。

アンケート調査の中から、今回の調査と関係する個所を抜粋して分析する。

Q5：名芸大への入学当初と現在とでは、関心を持っている分野は同じですか。

A：1 はい 2 いいえ

Q6：Q5 で「いいえ」と回答した人は、その理由は何ですか。

この質問に対して、3人が「はい」、1人が「いいえ」であった。「いいえ」と回答した1人の学生は、「将来の夢」について話してもらった時も将来は「未定」と答えていた学生である。その他の学生は入学当初と変わらず、目的意識を強く持っている学生が多いと言えよう。しかし、関心分野が変わった舞台芸術領域の学生は「専門的に学んだことで、自分の関心のあることとないことがはっきりわかったから」と回答をしている。これも2年間の勉強の成果と言えよう。

ちなみに、4人の将来の仕事の質問的回答をまとめると以下のようになった。

Q4：あなたは将来、どんな仕事をしたいですか。

A：①芸術関係（具体的に 声優、舞台関係）2人

②教育関係（具体的に 中・高の教員、保育士）1人

③その他

④未定 1人

また、現在の大学生活はどうなのがを知るため、下記のような質問をした。

Q7：入学当初と、2年生を終えた現在を比較して、思い描いていた大学生活は同じですか。それとも違いますか。違う場合は、どんなことが違いますか。

この質問に対しては「違う」との回答が多かった。

Bさん：全く違った。自分から積極的に様々なことに関わっていかないことには何も学ぶことはできないし、友だちを作ることもできない。自分の責任になる範囲が広がり予想外であった。その感覚に慣れるまで時間がかかった。

Cさん：保育実習などで長期休みが潰れてしまう。

Dさん：トラブルがあったり、周りの熱量との差から大変ではあるもののそれほど大きな違いはない。

筆者が思う以上に、実際の学生たちは大変なようである。積極的に様々なことに取り組めば組むほど大変になると思われる。しかし、その大変さが自分の身になり将来につながっていく。

最後に、下記のような質問に回答してもらった。

Q8：現在、考えていること、関心のあること、将来像などを自由に書いてください。

Bさん：大学を卒業して就職した先が全てではない。何度も転職を繰り返してもいい。最近はそのように考えることができたので、就職したい先が全く決まっていない私にとって、そのように考えることができたので、私にとっては就職に対する気持ちが少し楽になる考え方である。

Cさん：認定絵本士の資格を活かして、絵本の読み聞かせの仕事をするのも視野に入れている。

Dさん：東京に行く。

Eさん：舞台の表裏両方のことについて知ることができるようになりたい。

これらの回答を見ると、筆者が学生だった（1980年代）頃に比較すると、2年生を終わった時点で、様々なことを考えている本学の学生の真面目さ、真剣さが伝わってくる。

5-4. 本学の進路状況

これまで、2021年度の芸術学部（音楽領域、舞台芸術領域、芸術教養領域）と人間発達学部の新入生が受講した「大学生になる」「日本語表現」におけるレポート等を基に分析をしてきたが、実際に本学の先輩達は、卒業後どのような進路に進んでいるのであろうか。『名古屋芸術大学後援会資料』の「進路状況」を基に進路状況を見ていくことにする。

表 6-1 東キャンパス進路状況 2021 年度

学 部	卒業生数	就職・進学希望者数	就職者数	進学者数	合 計	就職・進学率 (%)
芸術学部（音楽領域・舞台芸術・芸術教養領域）	128	126	111	10	121	96.0
人間発達学部（子ども発達学科）	55	53	52	1	53	100

*芸術教養領域の卒業生数は9人

表 6-2 東キャンパス進路状況 2018 年度

学 部	卒業生数	就職・進学希望者数	就職者数	進学者数	合 計	就職・進学率 (%)
音楽学部（演奏学科・音楽文化創造学科）	96	86	66	17	83	96.5
人間発達学部（子ども発達学科）	89	82	78	4	82	100

表 6-3 東キャンパス進路状況 2015 年度

学 部	卒業生数	就職・進学希望者数	就職者数	進学者数	合 計	就職・進学率 (%)
音楽学部（演奏学科・音楽文化創造学科）	131	128	94	24	118	92.2
人間発達学部（子ども発達学科）	113	108	103	3	106	98.1

表 6-1 から表 6-3 が、2021 年度、2018 年度、2015 年度と、3 年ごとの東キャンパスにある学部の進路状況である。就職・進学率を見ると、芸術学部は 92.2 ~ 96.5% とほとんどの

学生が、就職か進学をしている。人間発達学部に至っては、98.1%から100%と、100%に近い学生が、就職か進学をしている。

また、このデータから気づくことは、芸術学部の学生の場合、進学者の数が減少している。2015年度24人の20.3%、2018年度17人の20.5%、2021年度10人の8.3%と減っている。また、人間発達学部の学生数が年々減少していることが目につく。昨今、18歳人口の数が減少していること、小・中学校、幼稚園・保育園等の教員に対する仕事の負担が影響しているものと思われる。

5-4-1. 芸術学部

次に、学部ごとの具体的な進路状況を見ていくことにする。まず、芸術学部の具体的な数字は表7-1～表7-3であり、それを視覚的にわかりやすくしたものが図1～3である。

表7-1 東キャンパス（芸術学部）進路状況 2021年度

学 部	就 職							進 学	合 計
	教育	福 祉	音楽講 師	音楽家	一般企 業	公務員	合 計		
芸術学部 (音楽・舞台芸術・芸術教養領域)	3	5	3	29	68	3	111	10	121

表7-2 東キャンパス（音楽学部）進路状況 2018年度

学 部	就 職							進 学	合 計
	教育	福 祉	音楽講 師	音楽家	一般企 業	公務員	合 計		
音楽学部 (演奏・音楽文化創造学科)	12	4	4	6	38	2	66	17	83

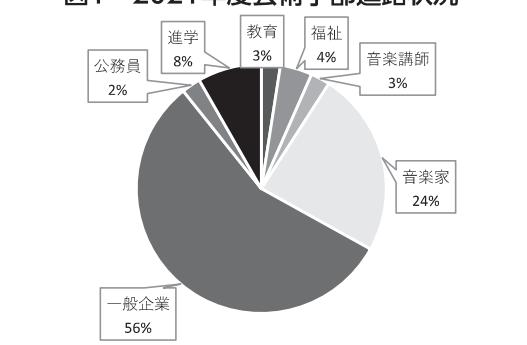
表7-3 東キャンパス（音楽学部）進路状況 2015年度

学 部	就 職							進 学	合 計
	教育	福 祉	音楽講 師	音楽家	一般企 業	公務員	合 計		
音楽学部 (演奏・音楽文化創造学科)	15	4	15	13	43	4	94	24	118

最新のデータである2021年度芸術学部の進路状況を見ると、一番の就職先は一般企業であり56%を占める。続いて、音楽家の24%、進学の8%となっている。一般企業が進路先の半分を占めている。これは2021年度に限ったことではなく、2015年度においても既に一番の就職先で37%を占め、2018年度46%と、年々一般企業の占める割合が高くなり、2021年度においては、ついに半分を超えた。

その他、一番古いデータである2015年度と比較すると、教育が13%から3%へと10%減少している。この教育は公立学校、私立学校の教員を指している。つまり、小・中学校の教員になる割合が減少している。また、2015

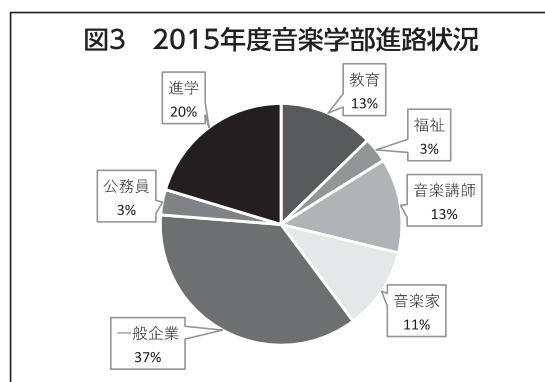
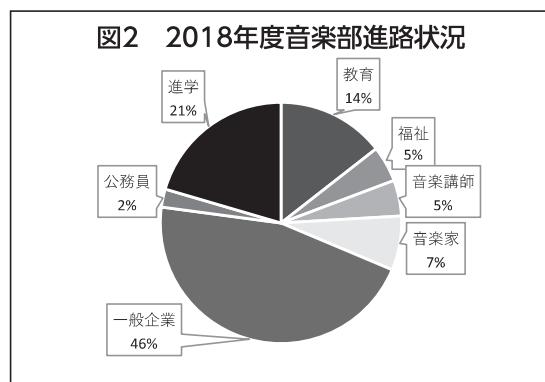
図1 2021年度芸術学部進路状況



年度は20%の学生が進学していたが、2021年度は8%と半分以下に減少している。

一方、音楽家が11%から24%へと13%も増加している。この音楽家とは奏者（フリー）とミュージカルアーティストを指している。卒業生の4分の1が音楽家となっている。

つまり、2015年度と比較すると、一般企業に就職する学生が増える一方で、音楽家へと進む学生も増え、安定していると思われる一般企業へ進む学生と、自分の好きな音楽家への道に進む学生との二極化が起きている。



5-4-2. 人間発達学部

次に、人間発達学部の進路状況を見ることにする。人間発達学部の具体的な数字は表8-1～表8-3であり、それを視覚的にわかりやすくしたものが図4～6である。

表8-1 東キャンパス（人間発達学部）進路状況 2021年度

学 部	就 職						進 学	合 計
	教育関係	認定こども園	福祉関係	一般企業	公務員	合 計		
人間発達学部子ども発達学科	11	6	18	16	1	52	1	53

表8-2 東キャンパス（人間発達学部）進路状況 2018年度

学 部	就 職						進 学	合 計
	教育関係	認定こども園	福祉関係	一般企業	公務員	合 計		
人間発達学部子ども発達学科	17	3	41	17	0	78	4	82

表8-3 東キャンパス（人間発達学部）進路状況 2015年度

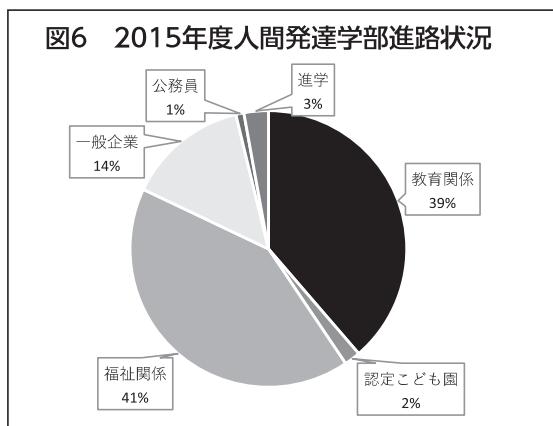
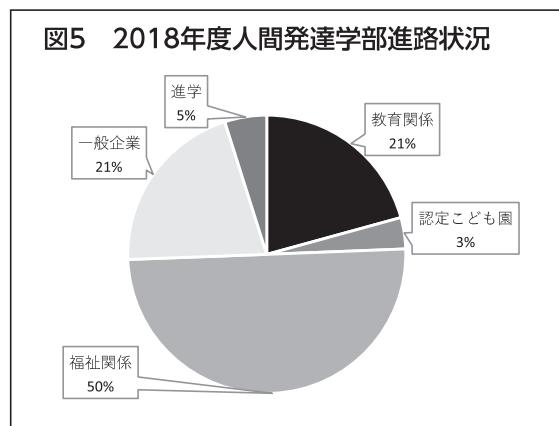
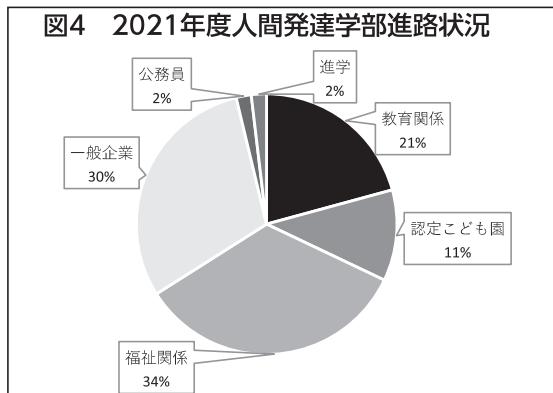
学 部	就 職						進 学	合 計
	教育関係	認定こども園	福祉関係	一般企業	公務員	合 計		
人間発達学部子ども発達学科	41	2	44	15	1	103	3	106

最新のデータである2021年度人間発達学部の進路状況を見ると、一番の就職先は福祉関係で34%、二番目が一般企業で30%、そして、三番目が教育関係の21%である。2015年度の進路状況は、福祉関係41%、教育関係39%、一般企業14%であり、2021年度と割合が大きく異なる。教育関係が39%から21%と半分になっている一方で、一般企業が14%

から30%と倍になっている。

福祉関係と聞いてもピンと来ないと思われるが、具体的は公立保育所、私立保育所、福祉施設等（保育士等）、学童保育所（クラブ）を指す。また、教育関係は、公立学校教員、公立幼稚園教員、私立幼稚園教員等を指す。

教育関係が21%と半分になっているが、国立の教育学部でも60%と低くなっているので、減少しても不思議ではない。芸術学部も一般企業への就職が多いが、人間発達学部でも増えているようだ。



6. おわりに

本学の2021年度入学した新入生が受講する「大学生になる」「日本語表現」において書かれたレポート等を通じて、本学の新入生はどのような夢を持って入学し、1年生においてはどのようなことに関心を持っていたのかを検証した。

本学は、芸術学部（音楽領域、舞台芸術領域、芸術教養領域）、人間発達学部（現教育学部）の2学部を持っているが、入学してくる学生は、明確な目的意識を持って入学してくることが明らかになった。芸術学部と人間発達学部を比較すると、より芸術学部の学生のほうが将来なりたい職業意識が強いと思われる。また、両学部の学生は3年生を迎えるに至っても強い気持ちを持っているものと推測される。2021年度の就職状況を見ると、両学部とも一般企業への就職が2015年度より多くなっている。芸術学部においては、音楽家になる学生も多く、一般企業に進む学生と音楽家に進む学生の二極化が起きている。また、人間発達学部も2015年度と比較すると教員になる人数が減少している。しかし、これは他の教員養成機関も同じだと思われる。

ある学生がアンケートで回答していたように、様々なことに積極的に関わっていかないと道は拓けない。学生たちが希望の進路に進むことを願ってやまない。

謝辞

本研究に協力していただいた「大学生になる」「日本語表現」の受講学生、就職に関するデータを提供してくださった職員の方々に感謝いたします。

引用文献

名古屋芸術大学後援会「2015年度進路状況」『2016年度名古屋芸術大学後援会資料』、
愛知、2016年

名古屋芸術大学後援会「2018年度進路状況」『2019年度名古屋芸術大学後援会資料』、
愛知、2019年

名古屋芸術大学後援会「2021年度進路状況」『2022年度名古屋芸術大学後援会資料』、
愛知、2022年

参考文献

高濱優子「短期大学生における職業意識調査分析および実践型キャリア教育プロセスの提
言」『名古屋経営短期大学紀要』56、2015年

田中敏明・矢野洋子・井出裕子「保育者養成系学生の就職、職業意識」『九州女子大学学術
情報センター研究紀要』1、2018年

日比野朱莉・白川由美子・山下愛花・橋弥あかね「養護教諭志望学生の1・2年生時期の養
護教諭への志向性の変化の過程と要因」『大阪教育大学紀要 人文社会科学・自然科
学』69、2021年

二重作清子・濱田維子・山下哲平「看護学生の職業意識を形成するキャリア支援と課題」
『キャリアと介護研究』7-1、2017年

三浦正子・蘇珍伊「意識調査から見る一年生の学習動機と職業意識の関連」『現代教育学研
究紀要』2、2009年

資料1

アンケート調査 実施日 2023年3月6日～3月21日

1 () 学部 _____ 学科 _____ 領域・コース

2 性別 男・女 年齢 歳

* Q1～Q8の質問にお答えください。あてはまる番号に○をつけるか、() 内に自由にお書きください。

Q1：あなたは、いつから現在の専門の勉強に関心を持ちましたか。

A : ①小学校入学以前 ②小学校 ③中学校 ④高校

⑤その他 ()

Q2：その専門に関心を持ったきっかけは何ですか。

A : ①親から勧められて ②先生の影響 ③クラブ活動

④行事に参加して (具体的に)

⑤その他 ()

Q3：芸術学部の学生に質問します。現在の専門に関する勉強を、本学へ入学する前に、学校以外に特別に勉強しましたか。

A : 1 はい (①塾②予備校③個人レッスン④その他 ())

2 いいえ

Q4：あなたは将来、どんな仕事をしたいですか。

A : ①芸術関係 (具体的に)

②教育関係 (具体的に)

③その他 ()

④未定

Q5：名芸大への入学当初と現在とでは関心を持っている分野は同じですか。

A : 1 はい 2 いいえ

Q6：Q5で「いいえ」と回答した人は、その理由は何ですか。

A : ()

Q7：入学当初と、2年生を終えた現在を比較して、思い描いていた大学生活は同じですか。それとも違いますか。違う場合は、どんなことが違いますか。

A : ()

Q8：現在、考えていること、関心のあること、将来像などを自由に書いてください。

A : ()